

## 2022 年度以降における形成外科領域専門医認定審査についての公示 その 2

2019 年 6 月 20 日  
 一般社団法人 日本形成外科学会  
 理事長 清川 兼輔  
 専門医認定委員会  
 委員長 寺師 浩人  
 データベース管理委員会  
 委員長 元村 尚嗣

2022 年度以降の形成外科領域専門医認定審査の申請について 39 巻 5 号に続き、お知らせいたします。

2022 年度以降の領域専門医認定審査申請は、NCD 形成外科疾患大分類が基本となることは 39 巻 5 号にて以下の通りお伝えしました。

### 2022 年度申請から適応される変更内容

- 1) 「**20 症例の症例の一覧表**」：資料提出はなくなります。
- 2) 「**10 症例についての所定の病歴要約**」：以下ようになります。

- ・ I から VIII までの NCD 形成外科疾患大分類を基本とする (Extract は除く)
  - ・ 5 大分類以上を含む
  - ・ 同一の下位分類からは術式の異なる 2 例まで
- ※マイナー症例の判断と取り扱いは現状のまま変更はありません

上記に加えて 2022 年度申請より、形成外科領域専門医制度細則第 20 条における「研修記録」の、「(I) 申請者の受け持った患者で直接手術に関与した 300 症例の症例一覧表 (うち 80 症例以上は術者)」については、現在 NCD 上にて申請できるシステムを開発しており、NCD にて症例登録を行ったもののみを利用できることとする予定です。

したがって、専門医申請を予定している会員におかれましては、300 症例で提出予定の症例は必ず NCD への登録を行ってくださいようお願いいたします。

また、手術を行った施設が NCD 登録を行っていない場合には、新規で NCD への施設登録を行ったうえで症例登録を行ってくださいようお願いいたします。

加えて、NCD 症例登録を行った症例に対しては、過去に遡って助手の追加ができない等、過去データの修正ができない可能性がある点もご注意ください。

2022 年度以降の専門医申請者 (旧制度での申請者も同様です) は、上記変更後の要件を考慮し準備を進めていただきますようお願いいたします。

以上